

製品名: CD104 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81975**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	202.2kDa

抗原情報

遺伝子名	CD104
別名	ITGB4; GP150
遺伝子 ID	3691.0
SwissProt ID	P16144
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD104 (AA: 追加 29-206) の精製された組み換え断片。

背景

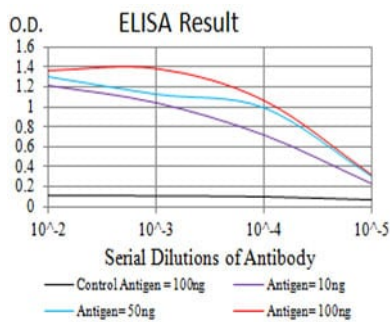
インテグリンは、非共有結合的に会合した膜貫通型糖タンパク質受容体である α サブユニットと β サブユニットからなるヘテロ二量体です。 α ポリペプチドと β ポリペプチドの様々な組み合わせが、リガンド結合特異性が異なる複合体を形成します。インテグリンは

細胞間接着または細胞間接着を媒介し、遺伝子発現と細胞増殖を制御するシグナルを伝達します。この遺伝子は、ラミニンの受容体であるインテグリン $\beta 4$ サブユニットをコードしています。このサブユニットは $\alpha 6$ サブユニットと会合する傾向があり、浸潤癌の生物学的に極めて重要な役割を果たすと考えられます。この遺伝子の変異は、幽門閉鎖を伴う表皮水疱症と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。

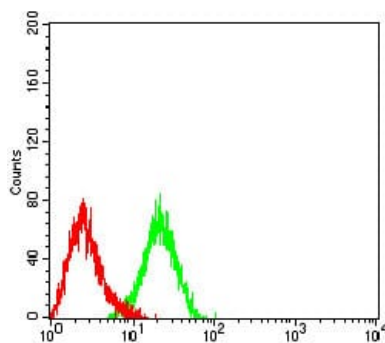
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路

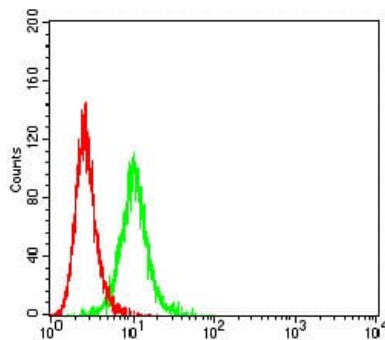
画像データ



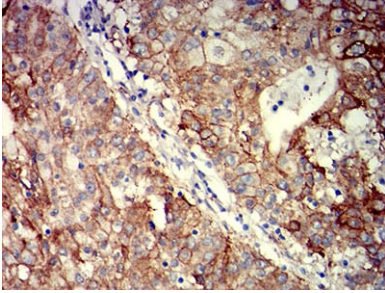
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CD104 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。



CD104 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CD104 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト胃癌組織の免疫組織化学分析。